

阿部竜之介 『Pepeの視点』 - Euphoniumでのソロ・コンサート、無事に終了！

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

July / 14 / 2023 # 124

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『Euphoniumでのソロ・コンサート、無事に終了！』
 - [2] Pepeのひとりごと
『21年ぶりに』
 - [3] 演奏のヒント！
『すべての音に』
 - [4] 編集後記
-

[1] 旬な話題、気になる話題

『Euphoniumでのソロ・コンサート、無事に終了！』

6月28日、無事にEuphoniumでのソロのコンサートを行うことができました。当日はお昼過ぎから大雨（+強風）に見舞われましたが、朝からものすごく暑かった気温も一気に収まってくれて、開場の少し前には気温も少し下がって雨もやんで、といういい感じとなりました。

最後まで心配していた集客も、開場すぐからたくさんの方に来ていただき、大盛況のうちに終演することができました。

ご来場くださったみなさま、本当にありがとうございました！とても幸せな時間を過ごすことができました。

今回のこのコンサート、僕が2015年の夏に大阪に引っ越してきてから初めてとなる本格的なEuphonium（だけ）でのソロのコンサートでした。

ユーフォニアム・デュオ「えばたんち」のお2人と一緒に、それぞれのソロ、そして一緒にトリオの演奏ができたことは、本当に貴重でいい経験となりました。

リハーサルの時からいろいろなところで刺激を受けることができ、また成長することができた実感しています！

個人的には、今回のこのコンサートへ向けての準備で、どっぷりとEuphonium奏者として過ごす時間が取れたことが、とても新鮮で心地よかったです。

また機会があればぜひやりたい！
これからもコツコツと努力を続けていきます。
また近いうちにたくさんの方たちに演奏を聴いてもらえるよう、これからもがんばっていきます！！

最後に、このコンサートを企画、運営をしてくれたえばたんちのお2人、本当にありがとうございました！感謝！！

[2] Pepeのひとりごと

『21年ぶりに』

去年のスペインに続き、今年の夏もヨーロッパへ行けることになりました。
目的地はイタリア！
実は、2002年に一度行っただけで、ほとんど行ったことのない国なんです。

いや、イタリアが好きではない、とかではないんですよ。
これまでいろいろな国に行きましたが、そのほとんどの目的が、オーケストラのオーディションを受けることだったのです。

で、イタリアのオーケストラのオーディション（金管楽器は。他の楽器については詳しく知りません）は、EU圏内の国籍の人が対象なので、日本人の僕は受けることができないんです。なので、イタリアには行く機会がありませんでした。

2002年に行ったのは、ヨーロッパ・ユース・吹奏楽団のイタリア・ツアーに参加したときです。

その時も、リハーサルをしていくつかの街に行って各街でのコンサートをやっていたので、イタリアの印象、というよりは、ヨーロッパのいろいろな国からオーディションを経て集まったメンバーととても刺激的、かつ楽しい時間を楽しんだ印象が強くてほとんどイタリアの印象はありません・・・（笑）。

今回は「Italian Brass Week」というイベントでマスタークラスをしたりコンサートで吹いたり、けっこう忙しく過ごすことになりそうなのですが、そのイベント終了後、飛行機の関係でもう2日ほど滞在してから帰ります。

特に観光をするつもりもないのですが（観光、どこにいても興味がありません・・・。いつも、散歩したり近くのスーパーに行ったりしてのんびり過ごしています）、その2日間はのんびり過ごして英気を養おうと考えています（日本に戻ってくるとすぐにお仕事なので。汗）。

[3] 演奏のヒント！

『すべての音に』

今月のタイトルは、漠然としていますね（笑）。
あえて短めに「すべての音に」としてみました。

詳しく書くとすると、
「すべての音に意識を向けて！」
という感じかな。

みなさん、楽器の練習の時に、「意識が行き届いていない音」を出したりしていませんか？

・・・「??」となった人もいるかと思いますが、言い換えると、「ただの口慣らしとしての音出し」のような感じで吹いてしまっている音はありませんか？ということです。

このことについて書こうと思ったのは、先日のレッスンのとき、始める直前の生徒さんの準備の音出しが、いかにも「音出し＝口慣らし」な感じだったからです。

そのとき、もちろん

「今音を吹くとき、何の音をどの音量で、どのような音色で吹こう！とか考えて（決めて）から吹いた？」と聞いてみましたよ。

で、答えは「ノー」。

これ、とっても細かいことで面倒くさいなあ、と思われると思うのですが、
こういう細かい意識の積み重ね、ってとても大切だと僕は考えています。

このように、些細なことではあるのですが、練習時間の中で
「どうでもいい音」を出し慣れてしまっている人は、本番のステージの
上での音を出すとき（演奏をするとき）、練習のときに感じたことのない
緊張をしたりするのではないかと、思っています。

「本番で緊張してしまってうまく演奏できないのですが、なにか
緊張しないいい方法はありませんか？」

という質問を受けることがあるのですが、僕はこのように答えています。

「本番で緊張しないように工夫をするのではなく、普段の練習の時から
ステージで演奏するときのような、またはそれ以上の緊張をしてしまう
環境を作って練習を重ねていくようにしましょう」

これの具体的な方法の一つが、上に書いたようなことだと考えています。

要するに、自分の出す音すべてに課題（目標）を作り、
「その音を当てにいく！」
という意識で「常に」音を出していく。

こうしていくと、練習の時から微妙にハマりきれていない音
（外している音）が出てしまったときに失敗だと思って
きちんと悔しがり、そして修正をして吹けるようにする、という
作業が行われます。

何かしらの音を出すときには、「常に」

- ・何の音を？
- ・どのような音量で？
- ・どのような音色で？
- ・どのような雰囲気音で？

ということを考えてするようにクセづけましょう。

そうすると、本番のステージの上で「いつも通り」の感覚で
吹けるようになってくると思いますよ。

ぜひ、やってみてくださいね。

編集後記

毎日すごく暑い日が続いていますが、みなさん、なんとか暑さに負けずに過ごせていますか？

僕は、今のところは生き抜けています。

しかし、まだ7月も半ば……。まだこれから2ヶ月ほどは暑い日々が続いていくのかと思うと、気持ちで負けちゃいそうになります……。

6月末のソロのコンサートのあとも休む間もなくいろいろなことがあって、今やっと少し落ち着いてきて、いろいろな整理をすることができています。

でも、気がつくともうイタリアへ行くまで約1週間となっていました。

昨日も、イタリア用のハーフパンツなどを買ったりして、少しずつイタリアへ行く準備が整ってきています（数日前のイタリアからの連絡のとき、今日のフィレンツェは気温38～39度だった、との衝撃的な報告があったので、いろいろと対策を練っています）。

そして昨日、このイベント内でのコンサートで初演される曲の楽譜も送られてきました（すっかりそんなこと忘れていました。で、ダウンロードはしたけどまだ見ていません……）。

まだまだすることたくさんで、毎日刺激的に過ごすことができそうです！暑さに負けず、がんばっていきましょう～！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』の配信停止はこちらから

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>